



2025 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
(コード：6574 東証グロース)
問合せ先 執行役員 藤本 光
(TEL：03 (3770) 1190 (代表))

資金使途の変更にに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年8月7日付「資金使途の変更にに関するお知らせ」にて公表しました第4回新株予約権(以下「本新株予約権」といいます。)の発行により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の理由

本日時点で、本新株予約権の権利行使に伴う払込金額総額が8,027,030,000円となり、2025年6月30日に公表いたしました「第三者割当による第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の引受契約の締結に関するお知らせ」において公表しております、払込額総額6,018,600,000円を超過したことから、変更することになりました。詳細につきましては、本日開示の「暗号資産（ビットコイン）の購入決議に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2025年8月4日開示の「コンヴァノ21,000ビットコイン財務補完計画」に基づき、2027年3月末までに21,000 BTC（発行上限比0.10%）を保有することを長期KPIとする「コンヴァノ21,000ビットコイン財務補完計画」（以下、本計画）を策定いたしました。当社は、2025年8月4日に公表した「コンヴァノ21,000ビットコイン財務補完計画」（以下「本計画」）に基づき、2027年3月末までに21,000BTC（発行上限比0.10%）の戦略的保有を長期KPIとして掲げております。本計画は、インフレ・円安環境下における購買力の保全、クロスボーダー取引基盤の自立化という財務戦略上の要請に応えるものであり、当社の中長期的な企業価値の最大化に資する中核施策であります。このKPI達成を着実かつ機動的に進めるため、当社は資金使途の考え方を明確化・精緻化し、本新株予約権の行使等を通じて当社が実際に受領する資金のうち、市場の株価水準の上振れに起因して基準想定を上回って流入する増分現金（以下「株価水準増価分」）を、原則として100%ビットコイン（以下「BTC」）の追加取得に充当する方針へと改めました。

当社は基準想定における資金配分の見直しを行い、自己勘定投資事業のうちデジタルアセットへの投資枠を拡大いたしました。その結果、（変更前）総額6,011百万円から（変更後）総額8,027百万円へと使途総額を見直し、同内訳としてデジタルアセット向けに2,016百万円を配分する一方、既存のM&A投資・社債返還等の基幹的支出方針は維持しております。これにより、基礎的な成長投資と財務安定化の両立を図りつつ、超過的な資金流入部分は100%BTCの追加取得に充当するという二層構造を確立します。

本変更は、①既存計画（M&A等）の遂行に必要な基礎資金を確保したうえで、②市場環境の好転に伴う超過的な調達余力を、本計画のKPI達成に直結するBTCの積み上げに優先配分する、という資本効率重視の発想

に立脚しています。これにより、長期的な株主価値の最大化（財務リザーブの質的向上と事業オプション価値の拡張）を同時に追求することが可能となります。

以上のとおり、当社は「株価水準増価分」を例外なくBTCの追加取得に充当することで、本計画の早期達成、財務レジリエンスの強化、ならびに開示の一貫性を確保し、長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

2. 変更の内容

変更箇所には下線を付しております。

(変更前)

＜本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① 自己勘定投資事業への投資	<u>1,511</u>	2025年7月～2027年7月
② コンサルティング事業への投資	0	2025年7月～2027年7月
③ ネイルサロン事業への投資	0	2025年7月～2027年7月
④ ヘルスケア事業への投資	0	2025年7月～2027年7月
⑤ 第1回普通社債の返還	1,000	2025年7月25日
⑥ 第2回普通社債、第3回普通社債の返還	3,500	2025年8月
合計	<u>6,011</u>	

①自己勘定投資事業への投資

用途	想定費用	支払時期
(ア) 上場企業M&A投資	1,500 百万円	2025 年7月～2027 年7月
(イ) デジタルアセットへの投資	<u>0 百万円</u>	2025 年7月～2027 年7月
(ウ) ブルーチップ&近現代アートと NFT のハイブリッド型オルタナティブ投資	11 百万円	2025 年7月～2027 年7月
合計	<u>1,511 百万円</u>	-

(変更後)

＜本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	金 額 (百万円)	支出予定時期
① 自己勘定投資事業への投資	<u>3,527</u>	2025年7月～2027年7月
② コンサルティング事業への投資	0	2025年7月～2027年7月
③ ネイルサロン事業への投資	0	2025年7月～2027年7月

④ ヘルスケア事業への投資	0	2025年7月～2027年7月
⑤ 第1回普通社債の返還	1,000	2025年7月25日
⑥ 第2回普通社債、第3回普通社債の返還	3,500	2025年8月
合計	<u>8,027</u>	

①自己勘定投資事業への投資

用途	想定費用	支払時期
(ア) 上場企業M&A投資	1,500 百万円	2025 年7月～2027 年7月
<u>(イ) デジタルアセットへの投資</u>	<u>2,016 百万円</u>	2025 年7月～2027 年7月
(ウ) ブルーチップ&近現代アートと NFT のハイブリッド型オルタナティブ投資	11 百万円	2025 年7月～2027 年7月
合計	<u>3,527百万円</u>	-

なお、本新株予約権の行使による払込みは、原則として新株予約権者の判断によるため、新株予約権行使により調達する時期は、新株予約権の行使状況によって決定されますが、今回は、当該資金使途が当社の企業価値の創造と向上に大きく寄与するものであることを割当先の株式会社ディメンショナルからも理解を得ております。また、具体的な使途の金額は想定行使価額(1,364円)での算定によるものであり、現在の株価(2025年8月12日の終値1,214円)水準をもとに調達額が増加した場合、当該増加に係る使途予定については改めてお知らせいたします。

ただ、本新株予約権の行使が思うように進まない場合には、資金使途の見直し及び別途の資金調達の可能性があることにも変更はございません。

3. 今後の見通し

本件変更が 2026年3月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上